



(今井 晃 カネツ商事執行役員)

私の好きな一文字

# 先物協会ニュース

## JCFIA マンスリー

**JCFIA**  
JAPAN COMMODITY FUTURES  
INDUSTRY ASSOCIATION

発行 日本商品先物振興協会  
〒103-0016  
東京都中央区日本橋小網町9-9  
TEL(03)3664-5731 FAX(03)3664-5733

http://www.jcfia.gr.jp/

### FUTURES PLAZA

コモディティ業界が変貌する最中、当業界のみならず、日本全体で企業文化の変革を求め、動きが強まっています。我が岡藤商事でも、企業は人なり！と今までの人材育成のあり方を見直すために、今春、人財戦略部を新設しました。当部署は、社長直轄で理念に基づき、営業社員の育成から全部署の幅広いジョイントとなり、全体の底上げを図ります。弊社は若手社員にチャンスを与える企業風

### 企業価値は人財とともに

岡藤商事 人財戦略部課長代理 中島 三養子



土があり、非常に恵まれた環境の中で私は入社10カ月で支店長に就任し、マネージメントの難しさを仲間の大切さなどを学びました。支店長業務を2年経て自信が持てるようになり、さらに収益を上げ、出世しようと思つていたら、あるお客様に出逢い疑問を感じました。「先物の会社だからこそできることがあるのでしょうか？ あなたの使命は何？」と問われ、「お客様、社員、自分を満足させることです」と利益ばかりを追求する自分がとても幼稚に感じられました。オカトリーの使命、私の使命

は何か？ そんな霧に包まれていた時、人財戦略部の一員となりました。そこで私が見つけた使命が「企業価値の向上」です。会社が社会にとってどれほどの価値をもたらすことができるのか？ 社内の価値を大きくしよう！ 社会での価値を高めるには、理念を持った集団であることが不可欠です。嘗ての私のように一時的に自己利益を追い求めるのは人財、脈動的にお客様や社会のために利益を追いかけたこそ人財だと考えました。そんな人財をたく

さん社会に残したい、ここにいるダイヤモンドの原石たちによって会社がバリューチェーンとしていく姿を思い浮かべると、私一人一人は企業にとつて有限ですが、企業は社会にとつて無限になることができます。まずは100周年まであと45年、商品業界の歴史に残るOKATOの1ページを刻んでいきます。

**プロフィール**  
1981年生まれ。2003年岡藤商事入社。2004年同西新宿支店長。2005年同渋谷支店長。2006年同人財戦略部課長代理。

**ルール遵守は創意工夫で**  
先物協会は、この調査結果

また、今回の調査で、行為規制について、会員の一部には誤った理解がなされていることも明らかになったことから、今後、会員各社へのヒアリングも行って実態を正確に把握し、Q&A等で正しい理解を求めているとともに、制度政策委員会や市場振興戦略会議において、引き続き市場の流動性確保に必要な制度的手当ての検討に取り組むこととしている。

また、今回の調査で、行為規制について、会員の一部には誤った理解がなされていることも明らかになったことから、今後、会員各社へのヒアリングも行って実態を正確に把握し、Q&A等で正しい理解を求めているとともに、制度政策委員会や市場振興戦略会議において、引き続き市場の流動性確保に必要な制度的手当ての検討に取り組むこととしている。

## 先物協会 経営環境アンケート 厳しい経営環境下、活性化に取り組む 流動性確保策を再検討

改正商品取引所法施行から1年。共同清算機関の創設などによって市場の信頼性は高まったが、反面、市場流動性への影響は、一過性でなくさらに悪化するのでは、という危機感が会員の一部に高まりつつあることを受け、先物協会は、全会員82社を対象に経営環境に関する調査を緊急に行った。

### ■経営環境についてアンケート集計結果(中間報告)

平成18年4月3日(月)実施

回答社数...73社 回答率...89%

- 平成17年度決算の状況  
 経常収支プラス...36社 経常収支マイナス...34社
- 平成16年度決算(回答のあった専業取引員のみ)  
 経常収支プラス...51社 経常収支マイナス...15社
- 平成15年度決算  
 経常収支プラス...55社 経常収支マイナス...9社

### 平成17年度決算における収益の柱(収益の10%以上)

①商品先物取引委託手数料収入	68社	97.1%
②商品先物取引自己売買収入	20社	28.6%
③金融先物(外国為替証拠金取引等)手数料収入	13社	18.6%
④金融先物(外国為替証拠金取引等)自己売買収入	2社	2.9%
⑤証券取引(先物取引を含む)委託手数料収入	6社	8.6%
⑥証券取引(先物取引を含む)自己売買収入	3社	4.3%
⑦商品ファンド等販売・管理手数料	3社	4.3%
⑧上場商品(金地金等)現物売買収入	2社	2.9%
⑨その他	4社	5.7%

### ●全取引所出来高と取組高(オプション取引除く)

	出来高	前年度比	取組高(3月末)	前年同月比
平成17年度	107,744,746枚	80.00%	1,483,752枚	75.3%
平成16年度	134,678,565枚	86.45%	1,971,167枚	82.8%

平成17年度の全市場の出来高は、16年度と比べ20%減少、期末の取組高も同じく25%減少した。取引員経営の厳しさが市場の流動性低下に密接に関連していると、先物協会は会員各社の経営状況を緊急調査、その結果を踏まえ、取引活性化に向けて、経営環境改善のための具体的方策の検討・実現に動き出した。

これを各年度の市場規模と対比すると、市場の流動性の低下と取引員の経営状況とが密接に関連していると推定できる。

平成18年度の経営環境の見通しについては、「改善する(良くなる)」と回答した社は36社とほぼ半数の社が、17年度が底で18年度に

厳しさを増す経営環境にどう対処するか。先物協会は4月26日、緊急に役員懇談会を開いた。現在の経営環境についてアンケート調査結果をベースにして議論を交わした。

ここで、二家勝明会長は、このままでは商品取引員経営が成り立たなくなる、その時、マーケットはどうなるかとの懸念を

### 多くの意見・提案を要請

#### 先物協会緊急役員懇談会

抱いて、主務省、関係団体、取引所に各種要請、働きかけをしていくことを説明した。その上で、5月連休明けぐら

### 先物春秋

江戸の名著『世説新語』には「損益盛衰の根元は、諸色の相場より起る事なり。そのうち米相場は国家最第一とす」とある。明治の経済学者でジャーナリストの田口鼎軒は「日本の現代史は米相場の高下にて判断すべきこと多し」と喝破した。鼎軒の炯眼に目からウロコの山路愛山は「米相場高くとりて百姓容易に財を奪はる時は政論衰えて政治家も難渋せざるを得ず。のみならず、思想文学においても同様なり」と呼応した。米価が安いと、経済も政治も思想も文学も停滞するというのだ。講談社の創始者野間清治は「人間、新聞の相場欄を理解できないようでは本当の世の中は分からない。社会万般の姿が、この欄に反映してくるのだ」と確信し、米相場を実践した。だが、皆が皆、米相場の神髄を理解していた訳ではない。大正米騒動の時の農商務大臣仲小路廉は、米価高騰は先物市場での投機のせいだと勘繰って大物相場師に暴利取締令を発動して市場から締め出した。増田貫一や岡半右衛門など当代切つての相場師たちは米価の高いのは金融緩慢と作柄不安とシベリア出兵によるもので、おれたちのせいじゃない」と激しく抵抗したが、仲小路の辣腕は増貫の身柄を拘束する拳に出た。相場師を退治し、市場を閉鎖しても米価は上昇を続け、米騒動が勃発。寺内内閣は瓦解する。歴史は米相場が万華鏡の機能を持つことを教えている。米の上場申請を却下した農水相は時代相を映し出す鏡に目をそむけた仲小路の轍を踏むことにならないか。(泉)